Creative Enzymes®

ネイティブ大腸菌グリセロキナーゼ

Cat. No. NATE-0288

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グリセロールキナーゼは、トリグリセリドおよびグリセロホスファリピッドの合成に関与するリン酸転移酵素です。グリセロールキナーゼは、MgATP依存的なグリセロールのリン酸化を触媒し、sn-グリセロール-3-リン酸を生成し、グリセロールの利用における速度制限酵素です。また、フルクトース-1,6-ビスリン酸によるフィードバック調節の影響を受けます。
用途	グリセロールキナーゼ（glpK）を使用して、痛みを制御する神□ペプチドがヒト脂肪細胞のリポリシスに与える影響を研究しました。
別名	EC 2.7.1.30; グリセロキナーゼ; GK; ATP:グリセロール-3-リン酸転移酵素; グリセロールキナーゼ (リン酸化); グリセリンキナーゼ; 9030-66-4

製品情報

由来	大腸菌
形態	タイプI、凍結乾燥粉末、部分精製凍結乾燥粉末、バランスは主に塩とEDTAです；タイプII、硫酸アンモニウム懸濁液、3.1 M (NH4)2SO4 pH 7.3の懸濁液、1% BSAおよび2% トレハロースを含みます。
***EC*番号**	EC 2.7.1.30
***CAS*登□番号**	9030-66-4
活性	タイプI、50-100単位/mgタンパク質；タイプII、300-600単位/mL。
単位定義	1ユニットは、pH 9.8、25°CでPK/LDHと連結したシステムにおいて、1分あたり1.0 μmoleのグリセロールとATPをL-α-グリセロホスフェートとADPに□換します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C